

テキストで学ぶだけでなく、
YouTubeでも学べる・
AIでも学べる
そんな素敵な時代が来た！



愛知学泉大学

学長 寺部 暁 氏

教育随想

明治時代から始まった日本の学校教育は、「教科書で教える」「教科書で学ぶ」というスタイルを基本としてきました。教科書は、国家の定めた教育課程に基づき標準化された知識を効率的に学ぶための手段として機能し、教育の均質化に大きく寄与してきました。しかし、二十一世紀に入り社会の急速な変化とデジタル技術の進化により、教育の在り方が今、大きな転換期を迎えています。

近年、「YouTubeで教える」「YouTubeで学ぶ」というスタイルにより教科書中心の学びとは異なる学びが可能となってきました。YouTubeでは、視覚的・動的な教材が複雑な概念や実験の理解を助け、生徒の学習意欲を高める効果があります。学ぶ場所や時間を問わずに学べるという利便性が魅力です。しかし、情報の質や信頼性を判断する能力が必要であり、生徒の批判的思考を養うことが重要となっています。



さらに、第三次AIブームの到来により、「AIで教える」「AIで学ぶ」という新たなスタイルが教育に導入され始めています。AIは個々の学習データを解析し、最適化された教材やフィードバックを提供することで、学習効率を飛躍的に向上させます。個別最適化指導を可能にする一方、生徒自身の思考力や問題解決能力が損なわれるリスクもある中で、バランス感覚が求められます。

今後の学校教育では、「教科書」「YouTube」「AI」それぞれの特性を活用し、柔軟で多様な学びの環境を提供することが求められます。その中で、同時に、教員の役割も大きく変化せざるを得ません。知識の伝達者としての教員から、生徒が主体的に学ぶプロセスを支援するファシリテーターへと、生徒の思考力や探求心を引き出す役割を担うべきです。また、生徒がYouTubeや

(てらべ あきら)



令和7年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
愛知学泉大学
学長 寺部 暁 氏
- この人に聞く…………… 2
和菓子職人 榊原 勝美 氏
- 羅針盤…………… 2
図工・美術科指導員
中根 勅子
- ふれあい…………… 3
甲山中学校
教諭 浅岡 哲平
- 特集…………… 4
1年のあゆみ
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
北中学校開校式(昭和63年)
- この本を…………… 8



多くの方から長く愛されるために

和菓子職人 榊原 勝美氏

初夏に蛍が舞い、鮎が泳ぐ乙川の
中流地域に、和菓子店はある。ショーク
ースには、地元ゆかりの蛍や鮎を
モチーフにした焼き菓子や、季節に
合わせた蒸し菓子が並ぶ。和やかな
笑顔でお客様を温かく迎える店主、
榊原勝美氏にお話を伺った。
—和菓子職人になった経緯を教えてください—

私の父親が地元の生平学区にあつた
空き店舗を買い、和菓子店を始め
ました。父親は私が三歳のときに戦
死してしまったので、母が私たち三
人兄弟を抱えながら、お菓子の小売
り業を営んでいました。そんな母の
姿を見て、自分も父の跡を継いで和
菓子職人になろうと決心しました。
そして、中学卒業後に福岡町のお菓
子屋で和菓子の修行を始めました。

—和菓子職人をしていて、今まで大
変だったことはありませんか—

修行後に店へ戻ったときは、大変
でした。修行先には、ある程度菓子
作りの機械がそろっていましたが、
あの頃のうちの店には落雁の型やお
釜など、昔の道具しかありませんで
した。それでもお客様のために、ま
た、自分たちが生きていくために、
たくさん失敗をしながら母と共に一
生懸命働きました。

昔より機械がそろった今では、新
しい和菓子を少しでも美味しくしよ
うと工夫することが大変です。昔は
炭酸饅頭や落雁などを扱うありふれ
た和菓子屋でしたが、今は新しい和
菓子作りにも挑戦しています。その
ために、材料や機械の種類、作り方
の工夫をしています。例えば、かり
んとう饅頭なら、どういう油を使っ
てどんな機械で揚げるか。あんぱん
饅頭なら、どんなあんこの種類にし
てどのくらい煮詰めるか。工夫を凝
らして新しい和菓子を作り、多くの
人に喜んでももらえるようにしてい
きたいと思っています。

—和菓子職人を長年続けることがで
きる理由を教えてください—

私たちが作ったお菓子を、多くの
人が愛してくださっているからです。
たくさんの方に愛していただける
よう、おいしい和菓子の開発に挑戦
しています。新しい和菓子の評判が、

自分が考えていた以上によいと、挑
戦してよかったと思います。

また、お客様とのコミュニケーション
も大切にしているので、お客様
との昔話や世間話をよくします。そ
のときに「またお店に寄ってね」と
言うのと、後日そのお客様が「この間
のいろいろがおいしかったから、ま
た寄ったよ」と言ってきたら、ま
たお菓子をたくさん買っていただける
のはもちろんうれしいのですが、たっ
た一つのためだけに車を停めて買い
に来てくださることが、和菓子職人
としていちばんうれしいことです。

—今後の展望を教えてください—

新しい和菓子も昔の和菓子も、作
り続けていきたいです。そのために、
新しい機械を導入して挑戦してい
きたいと思っています。最近の機械は、
手作りではできないような作業も
やってくれるようです。機械をうま
く利用していろいろな種類の和菓子
を作り、これからも家族と協力しな
がら多くの方に喜んでもらえる和菓子
屋であり続けたいと思っています。



氏名

さかきばら

かつみ

生年月日

昭和十五年

十月九日

住所

岡崎市



思いを表す過程を大切に

図工・美術科指導員

中根 勅子

図工・美術科では、色や形、材料
の選定や使い方、表現方法を試行錯
誤し、自分の思いを表現する過程を
大切にしている。

A教諭は小学校三年生「お魚さん
のダンスパーティー」を題材に、互
いの作品にアドバイスし合う授業を
行った。授業の導入、A教諭は「友
達の作品の素敵などところを教えて」
と全体に伝えた。「モールが花の形だ」
「リボンにボタンが通してある」な
どと様々な意見が出たところで、A
教諭は「魚がより素敵になる方法を
グループで話し合おう」と促した。

あるグループでは、Bさんの魚に
ついて四人が相談している。「ぼくの
魚はおどろくん。踊りが好き」と魚
の名前や特徴を説明するBさん。「色
が派手だから確かに踊りが好きそう」
とCさん。「でも、もっと素敵にする



日々寄り添い、信じ、委ねる

甲山中学校

教諭 浅岡 哲平

今年度の四月からF組に來られるようになったAさんは、二学期末までほとんど休むことなく登校している。私や支援員、F組の仲間と談笑する姿が増えるにつれて、Aさんの普段の表情も和らいできた。私は、Aさんから何事にも頑張ってみようという前向きさを、感じるようになった。

一週間に一度ある、F組での技術科の授業。この日は本棚を作っていた。これまでこの授業に参加していなかったAさんは、朝から参加しようか迷っているようだった。その様子を見た私は、Aさんに技術科の授業でも一歩を踏み出してほしくて、「一緒にこうよ」と声をかけた。Aさんの顔が曇るのを感じたが、さすが、「Aさんの本棚が見たいな」とつぶやいた。すると、Aさんはとほと木工室へと向かっていった。

技術科の先生は「ようこそ。木工室

へ」とAさんを明るく迎えた。その声で、Aさんの顔がかすかにほほえみ、木工室へ足を踏み入れていった。Aさんは、技術科の先生に手伝ってもらいながら丁寧に本棚を完成させることができた。F組へ帰って来るなり「先生、これ、あげる」と私に作品を手渡ししてくれた。その作品と私へ話しかける声の明るさから、充実感が伝わってきた。Aさんが新たに一歩を踏み出すきっかけになったことがうれしかった。

ある日、Aさんが浮かない表情で一人きりでいた。何かあったかと察知した私は、Aさんに話しかけた。「ううん。なにもないです」と、うつむきながらつぶやいたAさんの表情と暗い声に私は心にざわつきを覚え、声をかけ直した。

「やっぱり様子おかしいよ。どうしたの。」

「ちよつと……。」

Aさんは友達関係で悩んでいることを聞かせてくれた。私は話を聞き終えた後で、これまでのAさんの、F組での友達との関わり方を思い返し、友達とも前向きに向き合える今なら自分で答えを出せるのではと考え、「Aさんは、どうしたい」と問いかけた。Aさんは、少し考えた後で私を見て、「自分で考えてみます」とだけ言い、その場を去って行った。

数日後、Aさんは私のところに來

て「先生、聞いてください。自分の気持ちを整理することができました」と、すがすがしい表情で自分の考えを話してくれた。そこには、悩みに向き合い、前を向くAさんの頼もしい姿があった。このことがまた一つAさんの自信につながったのだろう。その後の学校行事にも、自分から参加し、友達と活動する姿が見られた。生徒は教師との対話を通して生徒自身と対話しているのだと感じる。日々の何気ない生徒とのふれあいを通して、その声や表情、態度から生徒を見取る。そして、教員同士が連携を図って生徒に寄り添ったり、時に背中を押したりすることが大切である。ただ、時には生徒の可能性を信じて委ねるという支援も大切だと、Aさんから教わった。一人一人と対話を重ね、個に応じたふれあいをこれからも続けていこうと決意した。



方法が浮かばない」と、Bさんは顔をしかめた。そこでA教諭が「Bさんの魚はどこに行くの」と問うた。

「祭り」と答えたBさんに、A教諭は「どんなお祭りに行くのかワークシートを見てごらん」と表したい思いに立ち返るよう促した。Bさんが「盆踊りで元氣よく踊る」と答えたその瞬間、四人の目が一斉に輝いた。

「盆踊りなら、鉢巻きはどう」「ちようちんとかさ」「鉢巻きなら赤と白」「モールなら鉢巻きがつくれそう」と次々にアイデアが飛び出す。Bさんも「たしかに」と魚の頭に紅白の鉢巻きを描き、「今度は法被を着せよう」と、自分の魚を表すのにふさわしい色や形、材料や表現方法を夢中で再考し、決めていく姿があった。

問いかけやワークシートなど、表したい思いへ立ち戻るA教諭の手だてにより、Bさんは自分の表したい思いを再確認した。そして、他者の視点を生かしながら、自分の思いに合う色や形、材料選びや表現方法を試行錯誤して表現することができた。

子供は、制作の過程で仲間と関わりながら表現の違いやよさ、新たな気付きを得る。そして、自分の思いが形になる喜びにより自己肯定感を高める。教師は、子供一人一人の思いを引き出し、その実現を支えたい。



▲令和6年度全国中学校カヌースプリント選手権大会
カナディアン男子1人乗りの部 1位 新香山中

1 年の
あゆみ

[illegible]



▲第91回NHK全国学校音楽コンクール
全国コンクール 優良賞 三島小

(5)



●最新情報

◆瀧山寺鬼祭りが国の重要無形民俗文化財に指定へ

国の文化審議会は、一月二十四日(金)に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、岡崎市の瀧山寺鬼祭りを国の重要無形民俗文化財に指定するよう答申した。

今年の鬼祭りは、二月十五日(土)に行われ、市内に留まらず、多くの人々の注目を集めた。また、常磐中学校の生徒たちによる土鈴販売も行われた。生徒たちが一つ一つ心を込めて作った土鈴は、縁起物として多くの人々の手に取られていた。



▲生徒手作りの土鈴とキーホルダー

◆第55回博報賞 ○独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動部門 奨励賞

岡崎市小中学校現職研修委員会
長期欠席対策部

岡崎市教育委員会は、「子どもを学校に適応させるのではなく、学校が子どもにも適応する」などの理念を掲げ、校内フリースクール「F組」を設置し、学校生活に悩みを抱える生徒や児童が安心して過ごせる居場所を、学校内につくっている。また、昨年度からは夜間なら通学できる生徒のために夜間学級「S組」の試験的な設置を開始した。F組では、心理的安全性が確保された環境下で、自己決定や小さな成功体験を積み重ねた結果、児童生徒が自己肯定感を高めていく姿が見られている。また、F組を「専門的で個別最適化された学びを創出する場」とあるという捉えが、教師や他の児童生徒にも広がり、「誰にでもその人なりの事情がある」という前向きな相互理解が広がっている。

岡崎市教育委員会が独自予算を確保し、経験豊富な教員

をF組の担任に配置するなど、自治体ぐるみで本格的な取組を開始したことに大きな意義があるということ、F組を通して、子供たちに前向きな人間理解を育んでいるということが評価され、今回の受賞に至った。

◆第40回東書教育賞 最優秀賞(中学校)

「集団での給食活動における個別最適な栄養摂取を目ざした取組」
福岡中学校 永田 祐己

栄養教諭である永田教諭が、給食における「ご飯」の適量摂取に対象を絞り、生徒自身が適量を知ることと、各個人の適量が盛られた状態を作ることを軸として実践を行った。

◆ジュニア家康公検定

令和七年一月十七日(金)各小学校で、六年生を対象とした「ジュニア家康公検定」が行われた。岡崎の偉人である徳川家康公に関連した問題が五十問出題され、児童は、マスタブレットを使って回答した。社会科「おかざき学習」

で学んだことを基礎として、歴史や家康公に興味をもった児童が、さらに学習を深めて検定に臨んだ。本年度、岡崎市内全小学校の六年生約三千六百人が参加した。

令和七年三月一日(土)、せきれいホールで行われた表彰式には、優秀な成績を収めた児童とその保護者が参加した。満点だった児童三人には、「家康賞」が、八十人以上だった児童百六十九人には「竹千代賞」が贈られた。

◆初任者研修閉講式

令和六年度岡崎市小中学校新規採用教員は、小学校八九名、中学校二〇名、計一〇九名(養護教諭含む)である。そして、新任事務職員は五名、市任期付教員は、六名である。

小学校初任者、中学校初任者は、講義中心の研修に加え、歌唱指導やICTを活用した授業改善の方法、キャンプファイヤーなどの野外活動や愛知教育大学附属特別支援学校における実習、市内研究発表への参観等、年十七回の研修を受けた。

令和七年二月十二日、小学校初任者、中学校初任者、新

規採用事務職員が一同に会し、初任者研修閉講式を行った。初任者代表者として挨拶をした大樹寺小学校の岩田奈月教諭は、「多くの人に支えられ、四月に抱いた不安が消え、晴れやかな気持ちで今日を迎えられた。」と感謝の気持ちを述べた。



●プレクラスだより

希望を胸に

室長 荒井 留美

「先生、大学に合格しました」
卒業したA子からの嬉しい報告である。A子は中学卒業後、毎学期末プレクラスを訪れ、近況報告をしてくれていた。話を聞けば、大学の入学金は自分でアルバイトをして貯めたお金で支払うということだ。本当に頭が下がる。彼女のやりたい職業は、パイロットからCAへ変わったが、大空を舞台とした仕事には変わりはない。意志の強い彼女のことだから、この夢はきつと実現させるに違いないと思う。

卒業していく子供たちはどの子も大きな夢をもち巣立っていく。そして、ほとんどの中学生は進学を希望している。子供たちは卒業後、言葉や文化の違いに苦戦しながら頑張っている。その中でも彼らの一番の悩みは、友達がなかなかできないことだと思う。現在通所している生徒に在籍校での様子を聞くと、「みんな親切です」と答える。温かいクラスの雰囲気を感じられ

る。それでも、お互いに心を開き、何でも話せる友達になるまでにはいかなのが現状である。

卒業式の日には私たちが伝える言葉はいつも同じである。「希望を持ち続けなさい。分らないことは、友達や先生に聞きなさい。頑張るあなたをきつと助けてくれる。」



●表彰

◆第70回青少年読書感想文全国コンクール

○中学校の部

サントリー奨励賞

常磐中 賀来 彩乃

◆こども音楽コンクール文学部

科学大臣賞選考会

○小学校合唱部門

3位

三島小

◆2024年度アンサンブルコンテスト県大会

○中学生の部

・フルート三重奏

金賞(東海大会出場)

竜海中 飯田 真優

眞鍋 実来・白石 麻衣

・サクソフォン四重奏

金賞(東海大会出場)

北中

北川愛莉紗・田村 翠咲

浅井 怜奈・鈴木 瑠依

・打楽器三重奏

金賞(愛知県教育委員会賞)

竜美丘小 持田 瑛太

薮崎 彩織・小林 環那

・金管六重奏

金賞(東海大会出場)

竜美丘小

天野 真維・土橋 晴仁

伊藤 りこ・神代 咲良

杉田慧太郎・後藤 愛梨

◆第70回青少年読書感想文愛知県コンクール

○中学校の部

愛知県知事賞

常磐中 賀来 彩乃

毎日新聞社奨励賞

城北中 奥田 心彩

優良賞

南中 柴田 和穂

竜南中 鈴木 香陽

海藤 凜

○小学校の部

愛知県知事賞

緑丘小

優良賞

本宿小

男川小

竜美丘小

緑丘小

矢作南小

連尺小

羽根小

◆第36回読書感想文愛知県コンクール

○中学校の部

優秀賞

美川中

優良賞

美川中

美川中

山崎 叶恵

中田 羽咲

○小学校の部

優秀賞

岩津小

上地小

大樹寺小

連尺小

上地小

根石小

六ツ美北小

下村 美遥

小塚 萌杏

山下 夏嬉

惣川 美咲

金田 茉那

近藤 花帆

教職員の相談窓口

【対象】全教職員

【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

北中学校開校式 (昭和63年)

写真提供：北中学校

昭和六十三年、北中学校の開校式が行われた。地元の人が長年待ち望んだ開校であり、参列した九百二十四名の生徒たちも、期待に胸を膨らませていた。

北中学校は、開校当時から生徒を中心とした学校づくりに努めてきた。きまりや制服等の制定には、生徒会役員やPTAとともに取り組んだ。平成十二年に、生徒の心と体、愛校心を育むために始まった「輝づなソーラン」は、生徒が主体となった伝統的な活動になっている。

学校には、開校から今日までに関わった多くの人々の熱い思いがある。その思いを受け継ぎながら、生徒や地域とともによりよい学校づくりに努めたい。



「豚肉」の読みを古い広辞苑で調べると、「ぶたにく」ではなく「とんにく」と書いてある。それを知った生徒たちはとても驚いた。この三月で卒業を迎える生徒たちとの、小さな思い出の一つだ。彼らが歌う『仰げば尊し』を聴いていたなら、「今こそ別れめ」は係り結びだと話した、あの日の教室の風景も目に浮かんだ。

ど ホ

弥 生 ツ



▲準備万端 卒業式前日の教室
(R5年度竜海中)

ホームルーム。子供らの心がほっと和らぐ居場所にするため、「教師は五者であれ」と、先輩教師に教わった。子供とふれあう中で、「学者、医者、易者、役者、芸者」となり、成長に寄り添いそつと支えていけたら、こんなに素敵なお仕事はない。改めて、個に応じたふれあいをこれからも大切にしていきたい。

追求をやめない榎原氏。お客様の笑顔のために「新しい饅頭を作るには、機械の手助けを借りながら、材料を工夫することが大切だ」とにこやかな表情で語る瞳からは、情熱が感じられた。年齢を重ねても多くの人に喜んでもらうことを第一に考え、積極的に挑戦する。私たち教員も、見習っていきたい姿だ。



*森の声、ゴリラの目 人類の本質を未来へつなぐ
山極 寿一
小学館新書
¥920

心に残った一文
生物はすべて利他的存在である

ゴリラ研究の国際的リーダーである著者は、ゴリラの社会に見られる深い絆や助け合いの姿は、人類が忘れかけている本質を映し出しているという。ゴリラなどの類人猿と共通の祖先をもっている人類は、700万年の進化の中で「共感力」と「利他の精神」を培ってきた。

戦争や分断、地球環境の危機に直面する現代において、これらの根源的な力を育むことが、今の学校教育に求められているのではないかと感じ、他者を思いやる心をもつ子供たちが、未来を切り拓く希望となる。

*子どもの脳の育て方	黒川伊保子
講談社α新書	¥900
*脳を活かすスマホ術	星 友啓
朝日新聞出版	¥810
*森保一の決める技法	二宮 清純
幻冬舎新書	¥960
六ツ美中部小学校	神谷 敦仁